

滝野6丁目自治会 杜の会便り(重要)

2023年8月6日

いつも滝野6丁目自治会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。

今月のお便りでは、町内の皆様には是非知っておいて頂きたいことがありますので、どうかご一読頂ければ幸いです。

【町内での水の分散保管について】

今年度も滝野6丁目自治会では、水を分散保管(役員、班長さん宅にて保管)することが災害時等のもしものときには有用と考え、保管を開始いたしました。滝の杜公園にある防災倉庫では、特に夏場は高温になり、保管場所としては適していないと考えられること、保管場所が一箇所だと、そこが被害を受けた場合の影響が大きいいため、分散備蓄にはリスクの低減としてもメリットがあります。

今年度、次のページに示す場所に保管しています、一箇所につき、ペットボトル500mL24本入を3箱、また、つどいの館にも、滝野6丁目の分として10箱程保管しております。

町内の皆様におかれましては、災害時等のいざという時のために、ご近所の保管場所を把握しておいて頂きますようお願いいたします。



災害時等への備えは、まずは各家庭にて行って頂くことが前提ではありますが、自治会としても、災害時には町内の皆様に少しでもお配りができるとよりよいと考えております。ご理解の程、よろしくお願いします。

以下に、災害時への備えとして役立つ情報を、インターネット等で調べました。少しでもご参考になれば幸いです。

水の分散保管とは

水の分散備蓄とは、災害時に水が不足しないように、家庭や地域で水を複数の場所に分けて備えておくことです。¹

水は生命を維持するために必要なもので、災害時にはライフラインが寸断されたり、飲料水が汚染されたりする可能性があります。

水の分散備蓄の方法としては、以下のようなものがあります。今回6丁目自治会では、町内における分散保管を行いました。各家庭においても、分散保管ができるようです。

例えば、

- 玄関や寝室、リビングなどの空きスペースや隙間にペットボトルやダンボール箱に入れた水を置く。
- 床下収納や物置などの暗くて寒い場所に水を置く。
- 車のドアポケットやトランクに水を置く。
- 防災用品と一緒にファイルボックスや頑丈収納ボックスなどに水を入れる。²

など、水の分散備蓄をすることで、災害時には自宅だけでなく、車や近所の施設などからも水を確保できる可能性が高まります。また、一箇所に集中していると被害を受けやすいので、分散させることでリスクを減らすことができます。

水は消費期限があるので、定期的に交換したり、使用したら補充したりすることも忘れずに行いましょう。

防災の豆知識です。

『防災の豆知識！知っておくと役立つ20の知識』³では、不便な被災生活を送るうえでの知恵や、命を守れるかどうかを大きく左右する知識など、幅広く紹介しています。例えば、

- 食器をラップで覆えば洗い物を減らせる
 - 懐中電灯は水を入れたペットボトルを使えばルームライトに
 - 蓄光シールを使えば突然の停電でも避難しやすくなる
 - 新聞紙+ビニール袋で食器になる
 - 大判のハンカチが「感染症対策」「粉塵除け」になる
- などです。

防災グッズの紹介です。

- 「キッチンばさみ」は、まな板なしで調理が可能になります。また、洗い物を減らすことにもつながります。被災生活中は、なるべく手軽に食事を準備できることが大切です。
- 「ポリ袋」は、手袋代わりとして活用できます。たとえば、避難中に家族がケガをした場合、素手で傷口に触れるのは感染症のリスクがありますので危険です。清潔なポリ袋を手にかぶせてから応急処置をしたほうが、安全性を確保しやすく、感染リスクが低いです。
- 「レインコート」は、雨対策だけではなく、汚れや寒さから身を守る効果も期待できます。レインコートは高い防水機能を誇ります。風を通しにくいという特徴もありますので、着用するだけで外部から身を守ることができます。

●「防災バッグ」は、必要な備蓄品を詰めたバッグです。必ず玄関横に配置しておきましょう。災害が発生したときに、すぐに持ち出せるようにすることが大切です。防災バッグに入れるべきものは、非常食、水、携帯電話や充電器、ラジオや懐中電灯、救急セットや常備薬、現金や貴重品、マスクやタオル、下着や着替え、などです。

また、ゴミ袋は、水の運搬、簡易トイレ、レインコートとしてなど、多数の使い道があるようです。滝の杜公園の防災倉庫にも、ゴミ袋は保管されています。

非常食に慣れておくことも大切です。私はたまに、消費期限が切れる非常食をお昼に持っていきます。

最後に、災害時の心構え

- 災害時には、自分や家族の命を守るために、落ち着いて行動することが大切です。⁵
- 災害が起こる前に、家族の連絡方法や待ち合わせ場所、避難場所や経路、非常持出品や備蓄品の確認などしておくことが必要です。⁶
- 災害時であっても、できるだけ健全な食生活が実践できるよう、日頃から適切な備蓄を行うとともに、限られた食品や資源をもとに食事を作るなど、非常時にも対応できる力を身につけておくことが大切です。⁷

最後までご覧頂き、ありがとうございました。引き続き、滝野6丁目自治会の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

以下のサイトを参考にしております。

1 特集 災害の備え、何をしていますか：防災情報のページ - 内閣府

https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h22/09/special_01.html

2 収納場所は計7カ所！わが家は「水」をこうして分散収納してます！【ストック&防災備蓄】 | 暮らしニスタ

<https://kurashinista.jp/column/detail/7968>

3 防災の豆知識！知っておくと役立つ20の知識 | あそび防災プロジェクト

<https://asobi-bosai.com/blog/202103101265/>

4 災害時に命を守る一人ひとりの防災対策 | 暮らしに役立つ情報

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201108/6.html>

5 防災の手引き～いろんな災害を知って備えよう～ | 首相官邸ホームページ

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/index.html>

6 災害時の心がまえ | 災害への備え | あしたの笑顔のために | 東京海上日動火災保険

<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/world/egao/sonae/attitude.html>

7 いざという時の心構え 災害時の食に備える - 兵庫県ホームページ

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf17/hw13_000000039_1.html

以上